

報道機関 各位

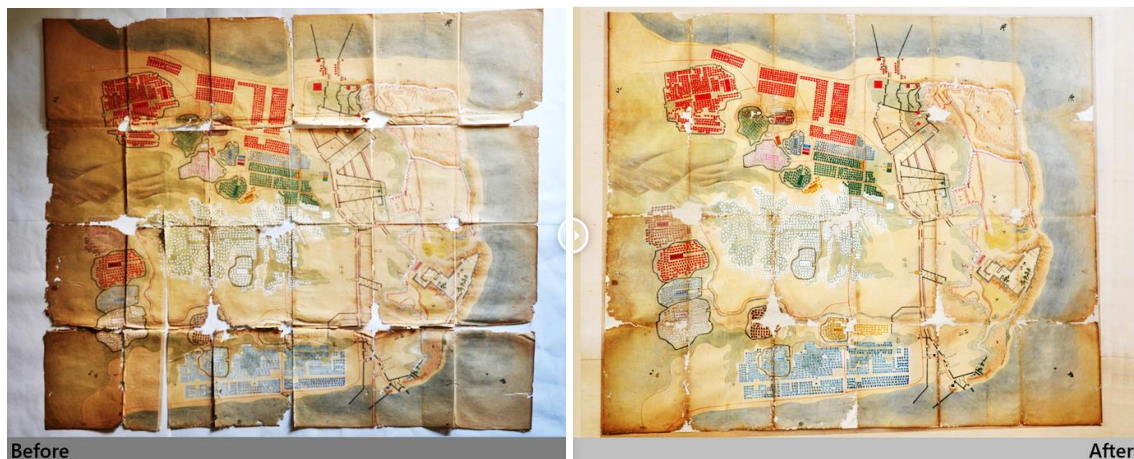
熊本大学

熊本大学所蔵「^{まつい けもんじょ}松井家文書」の修復事業が
第3回（2021年度）三菱財団文化財保存修復事業に採択されました

本学が所蔵する「松井家文書」は、熊本藩第一家老の家に蓄積された約4万点の資料群であり、その一部が国の重要文化財に指定されている「細川家北岡文庫（永青文庫）」などとともに熊本藩関係資料群と称する全国トップレベルの歴史資料として、調査・研究に活用されています。しかし、昭和30年代に松井家から本学へ移管された当時から、多くの資料に虫害等の損傷がみられ、その保存・修復には多くの費用がかかります。

本学附属図書館は、このたび、公益財団法人三菱財団が実施する「第3回（2021年度）三菱財団文化財保存修復事業」に応募し、同事業において、国立大学としては初となる採択が決定しました。なお、今年度の助成先11件のうち、仏像・美術品が多くを占める中、本学のみ歴史資料が採択されたことについて、本学の熊本藩関係資料群が高い評価を受けたものと考えます。貴重な歴史資料を未来へ残していくため、本学の社会貢献事業として今後も継続して資料の保存・修復に取り組んでいきます。

なお、近年、松井家文書から重要な新事実の発見が相次いでおり、その成果の一部は「オンライン貴重資料展」として、附属図書館のウェブサイトでも公開しています。今後も講演会や貴重資料展などを通じて、成果を社会に伝えていく予定です。



「肥前国有馬城之絵図」修理前（左）、修理後（右）

ウェブサイトでは、画像内のスライダーバーを左右に動かすことで、修理前と修理後の画像が比較できるようになっている。

<https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/events/onlinekichoshiryo/r2>

【お問い合わせ先】

熊本大学附属図書館

担当：教育研究支援部 図書館課（浜崎）

電話：096-342-2271

e-mail：tos-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp